

かぶと山小学校・高龍小学校との合同田植え

5月17日（火）の午後、かぶと山小学校5年生29名と高龍小学校5年生31名の合計60名が、本校の水田で手植えによる田植えをおこないました。

快晴の中、裸足で田んぼに入り、本校生産科学系列2年生13名のアドバイスを受け、慣れない手つきで泥まみれになりながら、約1時間汗を流しました。

参加者全員で5アールの水田にうるち米を植え、コツコツと取り組むことで得られる達成感も全員で体験することができました。

このうるち米は、本校生産科学系列2年生が栽培管理をおこない、9月にまた小学生と一緒に『稲刈り』をおこなう予定です。

参加した小学生からは、「最初は田んぼは歩きにくく、泥んこになったけど、みんなでいっぱい苗を植えて、田んぼ全部に植えきることができて良かった。」、「本当に楽しい時間でした。また、稲刈りが楽しみです。」、「昔の人はこうやって田植えをしていたことがわかり、大変さや苦労がよくわかりました。」といった感想も聞くことができました。指導にあたった本校生も日頃の学習の成果を発揮することができ実り多い取組となりました。

なお、この模様は5月18日（水）付け京都新聞、毎日新聞、産経新聞に掲載されました。

